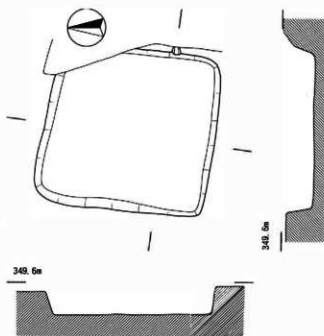


第9図 SB2出土土器

### SB3

一部が調査区域外により未調査ではあるが、住居のほとんどを検出することができた。他遺構との重複はなく、南北3.60m、東西3.40mを測る方形住居である。東壁と床に焼土が検出され、煙道も確認されたことから中央よりやや南に偏ったこの位置にカマドが構築されたものと想定する。床面は中央付近に非常に堅緻な床が広範囲に広がる。床面上には表面は被熱により赤褐色に変色した、もろい円・角礫が散乱しており、おそらくカマドに使用された石材であろう。そのほか柱穴などの施設は検出されていない。

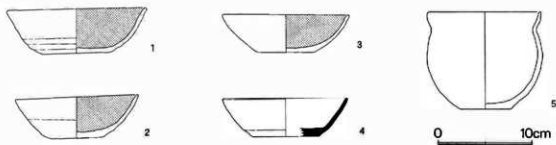
住居は良好に検出されたが、土器の出土は少ない。出土土器【第11図】には土師器杯（1～3）、須恵器杯（4）、土師器甕（5）がある。土師器の杯はすべて内面を黒色処理され、全体に丁寧なヘラミガキが施されており光沢をもつ。外面はロクロナデによる弱い凹凸が見られる。5は小形の甕で内外面ともロクロナデによる仕上げのみとなり、外面は僅かながら凹凸が見られる。土器はすべてカマド付近より出土している。



第10図 SB3



SB 3

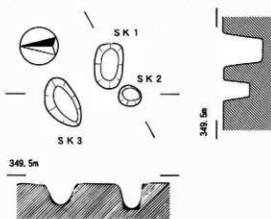


第11図 SB 3出土土器

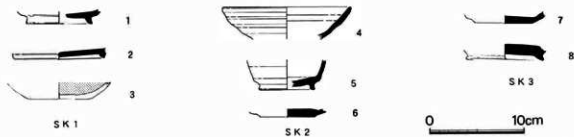
SK 1~3

それぞれSB 1の覆土中で検出された遺構で、円形あるいは楕円形を呈する。深さはまちまちであり用途は不明であるが、おそらく同時期の遺構として把握できるものである。

出土土器【第13図】はSK 1からは須恵器杯（1・2）、土師器杯（3）、SK 2からは須恵器杯（4~6）、SK 3からは須恵器杯（7・8）それぞれがある。1・2は底部破片で高台が付けられ、3は内面に黒色処理が施される。4は口クロナデによる凹凸が著しく、5・6は底部破片である。7・8も底部破片である。



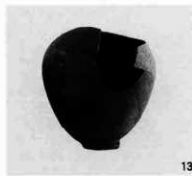
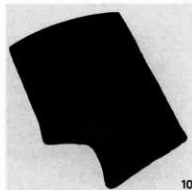
第12図 SK 1, 2, 3



第13図 SK 1・2・3出土土器



SB 1 出土土器



SB 2 出土土器



SB 3 出土土器

# 報告書抄録

ふりがな	あわかわせんじょうちせきぐん よしだよつちせき		あさかわせんじょうちせきぐん みわいせき		なつめがわらいせき			
書名	浅川扇状地遺跡群 吉田四ツ屋遺跡・浅川扇状地遺跡群 三輪遺跡(6)・粟河原遺跡							
副書名	グランドハイツ北長野開発事業 長野市三輪保育園改築事業 日本石油長野インターSS建設事業							
シリーズ名	長野市の埋蔵文化財							
シリーズ番号	第75集							
編著者名	寺島孝典・風間栄一・山田美弥子							
編集機関	長野市教育委員会(埋蔵文化財センター)							
所在地	〒381-2212 長野県長野市小島田町1414番地 長野市立博物館内 TEL026-284-0004							
発行年月日	西暦1996(平成8)年3月29日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
浅川扇状地遺跡群 吉田四ツ屋遺跡	長野市吉田4丁目 1366ほか	20201	A-①	36度 40分 15秒	138度 13分 42秒	19950412 ～ 19950606	2600㎡	マンション 建設
浅川扇状地遺跡群 三輪遺跡(6)	長野市三輪8丁目 6-31		A-①	36度 39分 34秒	138度 12分 17秒	19950828 ～ 19950914	460㎡	保育園改築
粟河原遺跡	長野市篠ノ井西寺 尾字下庭2464-33a		E-034	36度 35分 08秒	138度 11分 27秒	19950615 ～ 19950704	140㎡	ガソリン スタンド 建設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
吉田四ツ屋遺跡	集落・墓	縄文時代後期	住居跡2軒 土坑1基		土器・石器		敷石住居1	
		弥生時代中期	住居跡4軒		土器・石器		石器剥片集中	
		弥生時代後期	住居跡2軒 土器棺墓1基		土器・管玉・ガラス玉			
		古墳時代前期	住居跡2軒 墳丘墓2基		土器・埴輪		前方後方形?1	
		奈良時代	住居跡6軒 溝跡 土坑		土師器・須恵器			
三輪遺跡(6)	集落	弥生時代中期	土坑1基		土器			
		弥生時代後期	住居跡2軒		土器			
		古墳時代前期	住居跡1軒		土器			
		古墳時代後期	住居跡1軒		土器			
		奈良時代	住居跡2軒 溝跡1本		土師器・須恵器			
粟河原遺跡	集落	平安時代	住居跡3軒 土坑3基		土師器・須恵器・ 灰釉陶器			

# 長野市の埋蔵文化財

- 1968年 第1集『信濃長原古墳群』
- 1976年 第2集『浅川西条』
- 1978年 第3集『中村遺跡』
- 第4集『塩崎遺跡群』
- 1979年 第5集『塩崎遺跡群②』
- 1980年 第6集『三輪遺跡—付水内—元神社遺跡』
- 第7集『田中沖遺跡』
- 第8集『篠ノ井遺跡群』
- 第9集『四ツ屋遺跡（第1～3次）・徳間遺跡・塩崎遺跡群③』
- 1981年 第10集『湯谷古墳群・長礼山古墳群・駒沢新町遺跡』
- 第11集『箱清水遺跡・大峰遺跡・大清水遺跡』
- 1982年 第12集『浅川扇状地遺跡群—牟礼バイパスA・E地点』
- 1983年 第13集『浅川扇状地遺跡群 迎田遺跡・川田条里的遺構・石川条里的遺構』
- 1984年 第14集『石川条里的遺構③—上駒沢遺跡』
- 第15集『箱清水遺跡②』
- 1985年 第16集『石川条里的遺構③—（付上駒沢遺跡）』
- 1986年 第17集『浅川扇状地遺跡群—牟礼バイパスB・C・D地点』
- 第18集『塩崎遺跡群IV 市道松節—小田井神社地点遺跡』
- 1987年 第19集『上口將軍塚古墳—重要遺跡確認緊急調査—』
- 第20集『三輪遺跡③』
- 第21集『芹田小学校遺跡』
- 第22集『長野市高田高校グランド遺跡』
- 1988年 第23集『横田遺跡群 富士宮遺跡』
- 第24集『塩崎遺跡群V 椋原敷遺跡』
- 第25集『小島柳原遺跡群 南川向遺跡』
- 第26集『東湯場遺跡』
- 第27集『小柴見城跡』
- 第28集『宮崎遺跡』
- 第29集『浅川扇状地遺跡群 浅川端遺跡』
- 第30集『地附山古墳群』
- 第31集『町川田遺跡』
- 1989年 第32集『中条遺跡』
- 第33集『越前遺跡』
- 第34集『石川条里遺跡④』
- 第35集『篠ノ井遺跡群②』
- 1990年 第36集『屋地遺跡Ⅱ』
- 第37集『篠ノ井遺跡群Ⅲ』
- 1991年 第38集『栗田城跡・下宇木遺跡・三輪遺跡③』
- 第39集『塩崎遺跡群⑥・石川条里遺跡⑤』
- 第40集『松原遺跡』
- 第41集『小島柳原遺跡群 中俣遺跡・浅川扇状地遺跡群 押鎌遺跡・櫻田遺跡』
- 1992年 第42集『田中沖遺跡Ⅱ』
- 第43集『南宮遺跡』
- 第44集『塩崎遺跡群⑦』
- 第45集『石川条里遺跡⑥』
- 第46集『篠ノ井遺跡群④』
- 第47集『浅川扇状地遺跡群 ニツ宮遺跡・本場遺跡・柳田遺跡・稲橋遺跡』（2分冊）
- 第48集『小島柳原遺跡群 中俣遺跡Ⅱ』
- 1993年 第49集『浅川扇状地遺跡群 三輪遺跡④』
- 第50集『浅川扇状地遺跡群 本村東沖遺跡』
- 第51集『松原遺跡Ⅱ』
- 第52集『田代屋敷遺跡』
- 第53集『岩崎遺跡』
- 第54集『古町遺跡 流人塚』
- 第55集『浅川扇状地遺跡群 駒沢新町遺跡Ⅱ』
- 第56集『上見林遺跡』
- 第57集『石川条里遺跡⑦』
- 第58集『松原遺跡Ⅲ』
- 第59集『史跡 松代藩主真田家墓所』
- 1994年 第60集『猪平遺跡・宮ノ下遺跡』
- 第61集『栗田城跡②』
- 第62集『浅川扇状地遺跡群 三輪遺跡⑤・小島柳原遺跡群 上中島遺跡』
- 第63集『松原遺跡Ⅳ』
- 第64集『小島柳原遺跡群 宮西遺跡』
- 第65集『浅川扇状地遺跡群 牟礼バイパスB地点遺跡②』
- 第66集『石川条里遺跡⑧』
- 1995年 第67集『浅川扇状地遺跡群 本村東沖遺跡Ⅱ』
- 第68集『栗田城跡③』
- 第69集『浅川扇状地遺跡群 徳間本堂原遺跡』
- 第70集『八幡田沖遺跡』
- 第71集『浅川扇状地遺跡群 ニツ宮遺跡②・町東遺跡』
- 第72集『塩崎遺跡群⑧・石川条里遺跡⑨』
- 第73集『松代城跡』
- 第74集『松代城跡Ⅱ』

長野市の埋蔵文化財第75集

浅川扇状地遺跡群  
吉田四ツ屋遺跡

浅川扇状地遺跡群  
三輪遺跡(6)

藁河原遺跡

平成8年3月26日印刷

平成8年3月29日発行

編集 長野市教育委員会  
発行 長野市埋蔵文化財センター  
印刷 奥山印刷工業株式会社